

## 序 文

有明海は特異な海域であり、ここに生息する魚介類もまた、珍しいものが多く独特の生態を示している。最近、この海域のすばらしさに多くの人達の関心がむけられ始めている。漁業を営む人達もノリ養殖ののび悩みから、周年操業の必要性を痛感し、貝類を中心とした増養殖への進出に懸命である。有明水試としても今後はなお一層、有明特産魚介類の増殖、増産を目指し研究を進めていくべきと考えている。一方、有明海は四県にかこまれた閉鎖海域であることから、環境の変化にも十分な配慮が必要なことは言うまでもない。

また、60年度は新研究棟が完成し、生物工学の分野にも研究を行なうこととなり、新しい有明海の漁業の発展のため大きな使命が課せられたものと思っている。

昭和 61 年 4 月

有明水産試験場長 木 下 和 生

# 佐賀県有明水産試験場報告

第10号 昭和61年4月

## 目次

序 文

1. 有明海産タイラギに関する研究—IV  
—タイラギの天然採苗に関する試み(1)— ..... 1  
古賀秀昭・山下康夫
  2. アゲマキの生態—II —漁獲量の長期変動について— ..... 9  
吉本宗央
  3. アゲマキの生態—III —湾奥西岸域における分布の一例と形態,成熟について— ..... 17  
吉本宗央・杠 学・中武敬一
  4. 六角川感潮域における稚仔魚等の分布について ..... 35  
異儀田和弘
  5. ハゼクチの成長,成熟及び産卵について ..... 47  
異儀田和弘・小野原隆幸
  6. 佐賀県有明海ノリ漁場の海況特性について ..... 57  
杠 学
  7. 六角川河口沖定点における微細環境—I ..... 71  
川村嘉応・北嶋博卿・小澄千尋・山下康夫
  8. 昭和59年度における植物プランクトンの出現状況と  
その発生予測について ..... 89  
古賀秀昭
  9. 早津江川感潮域における大潮・小潮の水質特性 ..... 101  
馬場裕文・杉原雄二
  10. 有明海湾奥部における底泥の化学成分について ..... 115  
古賀秀昭・小澄千尋・杉原雄二・山下康夫
  11. コンクリート“アク”がノリにおよぼす影響 ..... 123  
中尾義房
  12. 生物に与える酸の急性毒性—I —クマエビに対する毒性— ..... 127  
馬場裕文・川村嘉応
- 有明水産試験場の機構及び所掌事務・職員名 ..... 133